

# コアと質保証の関係 (イメージ案)

◎ 全ての生徒が共通して身に付けるべきもの(=コア)について、どう考えるか。  
 (学習指導要領では、「高等学校は何か」ということを学習内容の面から示すものとして「必履修教科・科目等」を設けている。)

◎ また、その修得状況を把握し、質の保証を図る仕組みをどう考えるか。

高等学校教育を通じて身に付けさせるべきもの

確かな学力

- ア 基礎的な知識・技能
- イ 基礎的な知識・技能を活用して課題を解決する力(思考力・判断力・表現力等)
- ウ 主体的に学習に取り組む意欲・態度

豊かな心

- 社会の発展に寄与する態度を養うために必要な「公共心」や「倫理観」
- 社会奉仕の精神、他者への思いやり
- 健康の保持増進のための実践力

健やかな体

高等教育への接続の観点から重視すべき力  
 説明する力、議論する力  
 批判的、合理的に考える力  
 「創造力、構想力」

社会・職業への円滑な移行に必要な力

市民性  
 「自己理解・自己管理能力」  
 「主体的行動力」  
 「人間関係形成力」

A 筆記試験や実技試験等による客観的な評価の対象としやすいもの

◎ どのような質保証の仕組みが考えられるか。  
 (例)  
 ・修得状況を明らかにする共通のテスト  
 ・各種検定試験の活用

B A以外のもの

◎ どのような質保証の仕組みが考えられるか。  
 特に、評価の妥当性や信頼性をどう確保するか。  
 (例)  
 ・学校で修得の状況を把握するための方法や測定指標例の開発  
 ・指導要録の記載事項の改善など学習評価の充実